・熊本県における薬剤業務向上加算に係る出向予定調査

令和8年6月15日 現在

作成日	病院名	病院住所	担当者（問合せ先）					出向内容・出向予定者に関すること							出向先で担当可能な業務内容								出向先の病院にて、出向者に研修させたいこと（求めるもの）	備考
			所　属	役　職	氏　名	電話番号	メールアドレス	出向（可能）人数	出向可能期間	勤務時間	病院薬剤師勤務年数	出向元病院勤務年数	人件費などの負担	社宅等の必要性	薬剤管理指導業務	病棟薬剤業務	調剤	注射薬調剤	化学療法調製	医薬品情報	医薬品管理業務	その他		
4月1日	社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院	熊本市南区近見５丁目3番1号	薬剤部	薬剤部長代行	柴田　啓智	096-351-8000	akitomo-shibata@saiseikaikumamoto.jp	1人	令和７年６月以降 原則半年～１年間 （継続は要相談）	週4日以上かつ週32時間以上 土日勤務、夜勤は原則不可	3年以上の職員を予定	3年以上の職員を予定	出向元と出向先の病院間での調整による	社宅希望あり （無い場合は家賃補助が必要）	○	○	○	○	○	○	○		地域医療に係わる業務	
4月27日	国立大学法人　熊本大学病院	熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号	薬剤部	薬剤部長	城野　博史	096-373-5827 （薬剤部　事務室）	hjono@kuh.kumamoto-u.ac.jp	1人	本年度中に出向先と 出向者の状況により検討 （月単位又は年度単位）	8：30～17：15 （休憩時間1時間を含む）	6～7年以上	6～7年以上	出向先（双方で調整）	通勤困難な場合は必要	○	○	○	○	○	○	○	病棟薬剤業務、薬剤管理指導業務、多職種チーム医療にかかる業務	病棟薬剤業務、薬剤管理指導業務、多職種チーム医療にかかる業務、 地域医療連携	

・現時点における出向状況

令和8年6月15日 現在

作成日	出向元医療機関名	出向先医療機関名	出向状況に関すること						その他	備考
			出向人数	出向期間	出向内容	出向者（薬剤師）に係る内容	出向先での業務内容			
6月1日	済生会熊本病院	阿蘇医療センター	1名	2026年6月～2026年11月	阿蘇医療センターが担う地域の中核機能を維持すべく、出向により化学療法業務、薬剤管理指導業務、病棟薬剤業務、実習生指導・調剤業務、注射薬調剤業務を支援する。 特に入院患者の薬学的管理、服薬指導、退院時の情報提供を中心に支援を行う。退院時指導を含む薬剤管理指導業務の指導料算定、退院時連携加算に伴う保険薬局との情報連携が可能となる。 新人薬剤師の教育も行う。	2025年6月～2025年11月　1名 2025年12月～2026年5月　1名 2026年6月～2026年11月　1名	・化学療法業務（抗がん調製） ・薬剤管理指導業務（持参薬鑑別、初回面談、病棟での患者指導、退院時指導、薬局への情報提供） ・病棟薬剤業務（チームカンファレンスの参加など） ・実習生指導 ・調剤業務、注射薬調剤業務	勤務時間　8:30～17:15　月～金の平日週5日勤務	
4月30日	国立大学法人熊本大学病院	阿蘇医療センター	1人 （複数名によるローテーション）	令和8年度末まで	病棟薬剤業務、チーム医療、病院における効率的な薬剤師業務の構築、および地域医療連携に関する研修。特にがん化学療法における院内レジメン登録管理業務、抗がん剤調製業務、がん患者における薬剤管理指導業務、外来化学療法における連携充実加算業務について研修します。阿蘇地域の中核拠点病院である阿蘇医療センターは、熊本県指定がん診療連携拠点病院であり、がん診療における均てん化の観点からも、薬剤師のがん薬物治療支援が維持できるよう薬剤師不足の医療機関へ出向します。	がん薬物療法関連業務について十分な知識・経験のある、薬剤部業務歴7年目以上の薬剤師（複数名の薬剤師によるローテーション）：1名	病棟薬剤業務、特にがん化学療法における院内レジメン登録管理業務、抗がん剤調製業務、がん患者における薬剤管理指導業務また外来化学療法における連携充実加算業務。阿蘇医療センターの地域医療にかかる研修（阿蘇郡市薬剤師会の研修、阿蘇医療圏の多職種連携等にかかるカンファレンス・研修）、阿蘇医療センター関連診療所（薬剤師不在）の研修）などから地域医療における薬剤師の役割および医療連携、多職種協働を学ぶ。	勤務時間：平日（月－金）　週5日　8:30～17:15 上記の業務を中心に薬剤師1名が出向	